

付 託 事 件 等 審 査 結 果 報 告

令和 2 年 7 月 3 日

薩摩川内市議会総務文教委員会

委員長 徳 永 武 次

1 委員会の開催日

6月25日

2 付託事件及び審査結果

- ・ 議案第94号 令和2年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

本案については、委員から、タブレット端末の導入に伴う、通信環境の整備において、電磁波が児童生徒へ与える健康への影響、また、将来的なオンライン教育への活用に関して質疑があり、当局から「電磁波等による健康への影響については、今後、国からの指針等に注意しながら対応していきたい。また、オンライン教育への活用については、まず学校内の通信環境整備完了の目標を年度内とし、学校現場においてスムーズに活用できるように準備等を進めていきたい」旨の答弁があった。また、タブレット端末の機種等の選定に関して質疑があり、「鹿児島県が行っている県内自治体のタブレット端末の導入台数及び導入ソフトに関する調査結果を踏まえ、今後検討していく予定である」旨の答弁があった。

その後、討論において、「GIGAスクール構想によるタブレット端末の導入については、多額の予算を要し、児童生徒への電磁波の問題が懸念されることから、先行的に導入するのではなく、教職員を増やして、少人数学級にしていくことに力を入れるべき」という反対討論と、「本予算は、特定離島ふるさとおこし推進事業を主とした内容で、島民の声に添った形で編成されている。学校教育については、新型コロナウイルス感染症対策に関わる教育環境整備を含めた事業等が盛り込まれており、本市の将来を担う児童生徒の育成のための予算編成がなされている。Wi-Fi環境による電磁波の問題については、確実な科学的証明がなされていない中において反対するのはいかがなものか」という賛成討論が述べられ、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定した。